



子供の未来応援基金

令和5年度未来応援ネットワーク事業 「要望書」の各項目の補足説明

令和4年8月

子供の未来応援国民運動推進事務局
独立行政法人福祉医療機構(WAM)

要望書の各項目の補足説明

令和5年度
A事業

子供の未来応援国民運動推進事務局 御中

※記載例を事前に必ずご確認ください。
記載例と著しく異なる場合は、支援対象外となる可能性があります。
※改行は「Alt+Enter」で行ってください。

申請日：(和暦) 年 月 日

1. 申請者		
1-1. 名称	①団体種別(法人格等)	【例】特定非営利活動法人 団体種別、団体名称は、定款、法人登記簿と一致するようにしてください。任意団体の場合は団体種別を「非営利任意団体」としてください。
	②ふりがな	〇〇〇〇〇〇〇〇
	③団体名称	〇〇〇〇〇〇〇〇
	④法人番号(付与されている場合は13桁を記入)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
1-2. 団体所在地	①郵便番号(ハイフンあり)	〇〇〇-〇〇〇〇
	②都道府県名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	③ふりがな	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	④市区町村丁目番地	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	⑤ふりがな	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	⑥建物(マンション)、部屋番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	⑦電話番号(ハイフンあり)	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	⑧FAX番号(ハイフンあり)	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	⑨URL	http://〇〇〇〇〇
	⑩E-Mail	〇〇〇〇@〇〇〇〇
1-3. 代表者	①役職名	【例】代表 定款、法人登記簿等における代表者の役職名とし、特に定められていない場合は「代表」としてください。
	②ふりがな	〇〇〇〇
	③氏名	〇〇〇〇
	④生年月日(和暦)	昭和〇年〇月〇日
	⑤代表者住所	〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 団体住所でなく代表者のご自宅を記入してください。
	⑥電話番号(ハイフンあり)	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	⑦略歴(主な職歴・福祉活動歴や、現在の他の勤務先・他に代表を務める団体等)	【例】 19〇〇年〇月 〇〇〇〇〇〇〇〇就任 19〇〇年〇月 〇〇〇〇〇〇〇〇就任 〇〇〇〇〇〇〇〇退任 20〇〇年〇月 〇〇〇〇〇〇〇〇就任(現在まで) 20〇〇年〇月 〇〇〇〇〇〇〇〇就任(現在まで) 代表者の主な略歴を時系列で記入してください。 学歴は不要です。
1-4. 担当者連絡先	①ふりがな	〇〇〇〇
	②氏名	〇〇〇〇
	③電話番号(ハイフンあり)	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇 一該当するものをプルダウンから選択
	④連絡可能時間帯	〇:〇〇 ~ 〇:〇〇 (月~木曜日) 日中のつながりやすい時間帯にしてください。

2. 申請事業			
2-1. 事業名(30文字以内)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 事業		
2-2. 事業概要(〇〇を目的に〇〇する事業の形で300文字以内)	【記載事項】旅行を行う事業が、子供の貧困対策に資するものであることが分かるように記入してください。 〇目的 〇対象者(想定されるもの) 〇実施方法 ※支援対象となった場合、この項目は公表されます。事業について、多くの方に広く周知できる内容としてください(一般論は記載しないでください)。 【例】 〇〇〇な状況にある親子を〇〇にすることを目的に、〇〇や〇〇、〇〇を実施する。 上記【記載事項】を踏まえ、本事業が子供の貧困対策に資するものであることが分かるように、どのような事業に取り組むか、事業の全体像を分かりやすく記入してください。		
2-3. 事業分野	※下記ア～オのいずれかに近い事業分野がある場合は、最も近い分野1つに◎を入力。複数の事業分野を実施する場合は、メインの分野1つに◎を入力し、メイン以外の分野は○を入力(複数入力可)。下記ア～オに全く当てはまらない場合は、別々に記入可。 ◎ ア 様々な学びを支援する事業 ○ ウ 衣食住など生活の支援を行う事業 オ 児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援事業 エ 児童又はその保護者の就労を支援する事業 カ その他、貧困の連鎖の解消につながる事業 申請事業にかかると障害者総合支援法、介護保険法、児童福祉法の指定の有無 ※有の指定、支援対象外となる可能性が あります。 障害者総合支援法の指定 有 介護保険法の指定 無 児童福祉法の指定 無 今回の申請事業について、介護保険法・障害者総合支援法・児童福祉法の指定事業者に当たる場合は「有」、当たらない場合は「無」を選択してください。		
2-4-1. 衛生管理体制(食事提供を実施する場合のみ回答)	衛生管理体制について留意している事項を選択してください。(複数選択可) ○ 衛生管理に関するマニュアルを整備 ○ 調理器具・食器類の消毒 ○ 衛生管理に関する研修に参加 ○ 手指の洗浄・消毒 ○ 衛生管理責任者を配置 ○ マスクの着用 ○ その他(内容を右欄に記入)		
2-4-2. 新型コロナウイルス感染症予防に係る衛生対策について	※新型コロナウイルス感染症予防に係る衛生対策について、その内容を記入してください。 【例】 ・スタッフ・出勤前の検温、参加者・参加時の体温チェック ・手洗い、アルコール消毒、マスクの着用 ・密にならない通気配置、部屋の換気		
2-5. 事業の位置づけ(複数選択可)	○ 新たな取り組み ○ 既存事業の拡充 ○ 取り組みの普及 上記以外の取り組み 複数選択可能です。 「既存事業の拡充」を選択する場合は、どのような拡充を図る事業であるのか2-7に記入してください。		
2-6. 事業の目的・必要性	※「社会的背景」や「解決したい課題」を踏まえ、事業の必要性と事業を実施することにより実現したいことを300文字以内で記入してください。 未来応援ネットワーク事業の実績がある場合は、その事業により得られた成果や新たな福祉課題を踏まえて、今回の要望事業の必要性を中心に記入してください。		

1. 申請者:名称

令和5年度
A事業

子供の未来応援国民運動推進事務局 御中

※記載例を事前に必ずご確認ください。

記載例と著しく異なる場合は、支援対象外となる可能性があります。

※改行は「Alt+Enter」で行ってください。

申請日: (和暦)

年 月 日

1. 申請者		
1-1. 名称	①団体種別(法人格等)	【例】特定非営利活動法人
	②ふりがな	○○○○○○○○○○
	③団体名称	○○○○○○○○○○
	④法人番号(付与されている場合は13桁を記入)	○○○○○○○○○○○○○○○
1-2. 団体所在地	①郵便番号(ハイフンあり)	○○○-○○○○
	②都道府県名	○○○○○○○○○○○○○○○
	③ふりがな	○○○○○○○○○○○○○○○
	④市区町村丁目番地	○○○○○○○○○○○○○○○
	⑤ふりがな	○○○○○○○○○○○○○○○
	⑥建物(マンション)、部屋番号	○○○○○○○○○○○○○○○
	⑦電話番号(ハイフンあり)	○○○-○○○○-○○○○
	⑧FAX番号(ハイフンあり)	○○○-○○○○-○○○○
	⑨URL	<u>http://○○○○○</u>
	⑩E-Mail	<u>○○○○○@○○○○○</u>

団体種別、団体名称は、定款、法人登記簿と一致するようにしてください。任意団体の場合は団体種別を「非営利任意団体」としてください。

法人番号とは、国税庁が指定する13桁の番号です。法人番号は法人格を有する団体に対し1つの番号が指定されます。法人番号の詳細は以下のホームページをご参照ください。(法人番号を調べることができます。)

国税庁 法人番号公表サイト
<http://www.houjin-bangou.nta.go.jp/>

1. 申請者：団体所在地

1-2. 団体所在地	①郵便番号(ハイフンあり)	〇〇〇-〇〇〇〇
	②都道府県名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	③ふりがな	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	④市区町村丁目番地	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	⑤ふりがな	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	⑥建物(マンション)、部屋番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	⑦電話番号(ハイフンあり)	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	⑧FAX番号(ハイフンあり)	〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
	⑨URL	http://〇〇〇〇〇
	⑩E-Mail	〇〇〇〇@〇〇〇〇

ご記載頂いたメールアドレスは、
主に内定後のご連絡等で使用します。

1. 申請者：代表者、担当者連絡先

[illegible]

1. 申請者：団体概要（団体の沿革、活動実績）

1-5. 団体概要	⑧団体の沿革（箇条書きで記載）	【記載事項】 ○事業を開始した年 ○法人格がある場合、法人格を取得した年 ○行政から事業を受託した実績がある場合は当該受託年度・委託自治体・事業名称
	⑨直近3年間の主な活動実績とその財源について	※事業名に財源を紐付けて記入してください（例：〇〇事業（〇〇助成金）、△△事業（自己資金）など）。 【記載事項】 ○実施回数・実施箇所数 ○支援した子供・大人の人数又は（対象が不特定多数の場合）参加者数 ○支援した子供のうち、受験を支援した子供がいた場合、進学者数・進学状況（高校・専門学校・大学進学等） ○支援した子供のうち、就職を支援した子供がいた場合、就職者数・就職状況 ○食料支援の場合、配布した食料の量及び配布先の人数・施設数 ○その他、上記以外の数値的な成果又は数値以外の成果 ○地域広報誌やその他の報道で取り上げられたことがある場合、実績について具体的に記入 【例】 〇〇と〇〇のための〇〇活動、〇〇を〇〇する〇〇活動（〇〇市△△△△補助金 2019年度） （〇〇市内1箇所、支援した子供の人数：延べ〇〇〇人（実数〇人）、〇人中、高校進学者〇人（進学率100%）） □□□□事業（□□□□財団□□□□助成金 2020年度） （県内2箇所（□市と□□市）、配布した食料□□t、配布した家庭の数：延べ□□□世帯（実数□世帯）） △△△における△△の△△△△活動（補助金・助成金等なし、2021年度） （△△市内1箇所、参加者数：△△△人、2021年△月△日△△新聞（朝刊）に記事掲載）

上記「記載要項」に加え、今回の要望事業とのつながりがわかるように、活動を始めた経緯や、団体の設立経緯、沿革について、箇条書きで記載してください。

事業名及び当該活動の財源とあわせて、上記「記載要項」についても記入してください。箇条書きまたは文章のどちらでも構いません。

1. 申請者:団体概要(支援実績)

1-5. 団体概要	⑩未来応援ネットワーク事業の実績について ※第1～6回支援(R2コロナ緊急支援を除く)のうち、3回支援を受けている場合は、支援対象外となります。	支援を受けた回数	1	回 (下記プルダウン入力に応じ、自動計算されます)
			令和4年度(第6回未来応援ネットワーク事業)	
		支援を受けた年度 (プルダウンから選択)		
	⑪未来応援ネットワーク事業の実績がある場合、その事業の実施状況及び成果	※実施したことによる効果(変化)などを具体的な数字を交えて実施状況及び成果を350文字以内で記入してください。 【記載事項】 ○実施箇所数 ○支援した子供・大人の人数又は(対象が不特定多数の場合)参加者数 ○支援した子供のうち、受験を支援した子供がいた場合、進学者数・進学状況(高校・専門学校・大学進学等) ○支援した子供のうち、就職を支援した子供がいた場合、就職者数・就職状況 ○食料支援の場合、配布した食料の量及び配布先の人数・施設数 ○その他、上記以外の数値的な成果又は数値以外の成果 【例】 令和3年●月～●月まで、○○市内2拠点で中学生を対象に学習支援を月○回計○回開催。 参加人数延べ○人(実数○人)(8月時点)。 成果としては中間試験での成績上昇率○%。		

上記【記載事項】を踏まえ、事業の実施内容や参加人数、成果などを具体的に記載してください。成果については、事業を実施したことにより得られた効果について触れてください。未来応援ネットワーク事業の実績がない場合は「なし」と記入してください。

1. 申請者:役員名簿

役員名簿		(和暦)	年 月 日		現在
役 職 名	氏 名	年齢	常勤/非常勤の 区分	団体活動以外の職業(勤務先名)・ 連絡可能な電話番号	
監 事 (設置している場合に記載)					

枠が足りない場合は、一つの枠の中に複数名
記入してください。

監事を設置している場合は必ず記入してください。

2. 申請事業：事業概要、事業分野

どんなことをやりたいか
どういう目的の為に何をしたいのか

2. 申請事業										
2-1. 事業名(30文字以内)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 事業									
2-2. 事業概要 (○○を目的に ○○する事業の 形で300文字 以内)	【記載事項】※行おうとする事業が、子供の貧困対策に資するものであることが分かるように記入してください。 ○目的 ○対象者(想定されるもの) ○実施方法 ※支援対象となった場合、この項目は公表されます。事業について多くの方に広く周知できる内容としてください(一般論は記載しないでください)。 【例】 ○○○な状況にある親子を○○にすることを目的に、○○や○○、□□を実施する。									
2-3. 事業分野	※下記ア～オのいずれかに近い事業分野がある場合は、最も近い分野1つに◎を入力。 複数の事業分野を実施する場合は、メインの分野1つに◎を入力し、メイン以外の分野は○を入力(複数入力可)。 下記ア～オに全く当てはまらない場合は、カに◎を入力。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>◎</td> <td>ア 様々な学びを支援する事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ウ 衣食住など生活の支援を行う事業</td> <td>エ 児童又はその保護者の就労を支援する事業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>オ 児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援事業</td> <td>カ その他、貧困の連鎖の解消につながる事業</td> </tr> </tbody> </table>	◎	ア 様々な学びを支援する事業		○	ウ 衣食住など生活の支援を行う事業	エ 児童又はその保護者の就労を支援する事業		オ 児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援事業	カ その他、貧困の連鎖の解消につながる事業
◎	ア 様々な学びを支援する事業									
○	ウ 衣食住など生活の支援を行う事業	エ 児童又はその保護者の就労を支援する事業								
	オ 児童養護施設等の退所者等や里親・特別養子縁組に関する支援事業	カ その他、貧困の連鎖の解消につながる事業								

上記【記載事項】を踏まえ、本事業が子供の貧困対策に資するものであることが分かるように、どのような事業に取り組むか、事業の全体像を分かりやすく記入してください。

全く当てはまるものがない場合は、「カ その他、貧困の連鎖の解消につながる事業」を選んでください。

2. 申請事業：衛生対策、事業の位置づけ、事業の目的

2-4-1. 衛生管理体制 (食事提供を実施する場合のみ回答)	衛生管理体制について留意している事項を選択してください。(複数選択可)			
	☐	衛生管理に関するマニュアルを整備	☐	調理器具・食器類の消毒
	☐	衛生管理に関する研修に参加	☐	手指の洗浄・消毒
	☐	衛生管理責任者を配置	☐	マスクの着用
	☐	その他(内容を右欄に記入)		
2-4-2. 新型コロナウイルス感染症予防に係る衛生対策について	※新型コロナウイルス感染症予防に係る衛生対策について、その内容を記入してください。			
	【例】 ・スタッフ: 出勤前の検温、参加者: 参加時の体温チェック ・手洗い、アルコール消毒、マスクの着用 ・密にならない座席配置、部屋の換気			
2-5. 事業の位置づけ (複数選択可)	☐	新たな取り組み	☐	既存事業の拡充
	☐	取り組みの普及	☐	上記以外の取り組み
2-6. 事業の目的・必要性	※「社会的背景」や「解決したい課題」を踏まえ、事業の必要性和事業を実施することにより実現したいことを300文字以内で記入してください。			

複数選択可能です。

「既存事業の拡充」を選択する場合は、どのような拡充を図る事業であるのか2-7に記入してください。

未来応援ネットワーク事業の実績がある場合は、その事業により得られた成果や新たな福祉課題を踏まえて、今回の要望事業の必要性を中心に記入してください。

2. 申請事業：事業計画

2-7. 事業計画	※事業を【新たな取り組み】【既存事業の拡充を図る取り組み】【既存事業と同様の取り組み】に分け、下記の項目について枠内に収まるように事業の具体的な計画を記入してください。複数の柱立てにより事業を実施する場合は、柱立て毎に記入してください。 【項目】 1. ○○の開催(柱立て○) (1) 時期・回数 (2) 場所 (3) 対象者層・人数 (4) 事業内容詳細 (5) 対象者層(貧困を抱える子供)へのアプローチ方法 (6) 拡充の内容(【既存事業の拡充を図る取り組み】の場合のみ記入してください。)
	【新たな取り組み】 事業の具体的な内容を下記の記入例を参考にご記入ください。 なお、柱立てごとに記載していただく等分かりやすく記入してください。 記入例： 1.●●の実施（講座・研修会、訪問活動、配食・移動支援、相談・傾聴、イベント（シンポジウム等）、常設カフェ・サロン、報告会の開催、報告書の作成など） (1) 時期・回数：令和●年●月～●月 各月●回計●回 (2) 場所：●●市2拠点、●●市1拠点 (3) 対象者層・人数：●●（●●名） (4) 事業内容詳細：何をどのように行うのかを具体的に記入してください。 (5) 対象者層（貧困を抱える子供）へのアプローチ方法：どのようにして対象者層に支援を届けるのかを具体的に記入してください。

2. 申請事業：成果物、事業実施体制、期待される成果、連携内容

2-8. 事業成果物	※事業で制作する予定の事業成果物（報告書等）の仕様及び配布先を250文字以内で記入してください。 【例】 〇〇に関する報告書A〇版（〇ページ）〇部 チラシ、パンフレット等
2-9. 事業実施体制	※内部の運営体制について、①事業の柱立てNo.、②構成メンバーの名前、③メンバーの有する経験・専門性等の状況、④メンバーの役割について250文字以内で記入してください。 【例】 ①柱立て〇、②〇〇〇〇、③〇〇〇資格あり、④〇〇〇〇〇〇 ①柱立て〇、②〇〇〇〇、③〇〇〇〇の経験あり、④〇〇〇〇〇〇
2-10. 期待される成果	※事業により得られる成果（対象者や地域社会の変化）及び成果の確認方法（指標・測定方法等）を350字以内で記入してください。 【例】 参加者のうち、〇割の子供が〇〇できるようになったことを〇〇〇をもって確認する。
2-11. 連携を予定している団体及び連携内容	※事業を効果的に実施するための連携先（<u>行政をはじめ</u>、提携団体、ボランティア団体、地域コミュニティなど）及び連携内容を250文字以内で詳細に記入してください。 【例】 〇〇市役所〇〇課：〇〇〇〇〇を行う。 △△大学：△△△△△を行う。 NPO法人◇◇◇：◇◇◇◇◇を行う。 株式会社□□□：□□□□□を行う。

2. 申請事業: 広報

2-12. 事業に関する広報(情報発信の方法)	※事業に関する情報発信をどのように行うかを選択・記載してください。(複数選択・記載可) ※他事業を含め広報実績がある場合は、実績値を記載してください。						
	支援対象者向け			協力者・団体(行政、活動団体、一般)向け			
	○	チラシなどの印刷物		○	チラシなどの印刷物		
	(年間の配布数を右欄に記入)		部	(年間の配布数を右欄に記入)		部	
	○	団体ホームページ			団体ホームページ		
	(URLを右欄に記入)	http://		(URLを右欄に記入)	http://		
	(年間の更新頻度を右欄に記入)		回	(年間の更新頻度を右欄に記入)		回	
		メーリングリスト、LINE			メーリングリスト、LINE		
	(年間の配信頻度を右欄に記入)		回	(年間の配信頻度を右欄に記入)		回	
	○	facebook、twitter、instagram		○	facebook、twitter、instagram		
	(アカウントを右欄に記入)	○○○○○○○		(アカウントを右欄に記入)	○○○○○○○		
	(年間の更新頻度を右欄に記入)		回	(年間の更新頻度を右欄に記入)		回	
	イベント、報告会			イベント、報告会			
(年間の開催頻度を右欄に記入)		回	(年間の開催頻度を右欄に記入)		回		
○	その他 (内容を右欄に記入)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		○	その他 (内容を右欄に記入)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	

2. 申請事業：継続に関する計画、今後の展開

2-13.
継続に関する計画

※事業継続に関する構想について、該当するものを全て選択してください。

	制度化・モデル事業化・予算化	○	参加費・協賛金の増加
	寄付・会費の増加	○	団体が行う他のサービス収入の増加
○	他団体との連携強化・類似事業の普及		人材の確保・育成
	その他(内容を右欄に記入)		

※上記の該当項目の達成に向けて取り組むことについて、詳細に記入してください(300文字程度)。

事業継続については、具体性や確実性があるかという視点もあわせて、団体の資金調達の方向性（上記の該当項目の詳細）及び人材の確保を中心に記入してください。

2-14. 今後の展開

※今後、どのように事業を発展させていく予定なのか(事業の広域化や内容の充実等)、それにより地域や社会にどのような変化をもたらすのか、300文字以内で記入してください。

【例】〇〇〇〇〇を〇〇〇〇〇〇〇〇して〇〇〇〇〇〇〇〇していくことで、地域社会に〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇という変化をもたらすと考えられる。

支援金額調書記入の際のルール①

支援金額調書

①申請事業を実施するための経費

科目	金額(円)	内訳(具体的内容及び単価×数量を記入してください)
謝金	000,000	柱○ 講師謝金○○○○円×○回=○○○○円、 柱○ 実習指導者謝金○○○○円×○回=○○○○円
旅費	000,000	柱○ 交通費○○○○円×○回=○○○○円、 柱○ ガソリン代○○○○円×○回=○○○○円
所費合計	0	
賃金	000,000	柱○ 時給○○○○円 × ○○人 × ○日 × ○ヶ月=○○
家賃	000,000	柱○ ○円×○ヶ月=○○○円
光熱水費	000,000	柱○ 水道代○円×○ヶ月=○○○円、電気代○円×○ヶ月=○○○円、ガス代○円×○ヶ月=○○○円
備品購入費	000,000	柱○ ○○○の購入○○○円
消耗品費	000,000	柱○ マスク等感染症予防用品購入費○○○○円×○ヶ月=○○○○円 柱○ 食材費○○○円×○ヶ月=○○○○円
借料損料	000,000	柱○ 会場借料○○○○円×○回=○○○○円 柱○ タブレットリース料○○○○円×○回=○○○○円
印刷製本費	000,000	柱○ チラシ○円×○回=○○○○円
通信運搬費	000,000	柱○ wi-fi通信料○○円×○○月=○○○○円 柱○ 報告書発送代○○円×○○回=○○○○円
委託費	000,000	柱○ WEB制作費○○○○円
雑役務費	000,000	柱○ 振込手数料○円×○円=○○○○円
保険料	000,000	柱○ ボランティア保険○○○○円×○ヶ月=○○○○円
上記以外の対象経費	0	
A 上記支援費目の計	000,000	上記に当てはまらない費用がある場合、 単価×数量を記入してください。

[illegible]

支援金額調書記入の際のルール②

B 対象外経費	※: 具体的内容及び単価×数量を記入してください	
C 総事業費 (A+B)		000,000

募集要領の別紙（支援対象経費の例）をよくお読みいただき、支援の対象とならない経費がある場合はこちらに記入してください。

②申請事業にかかる収入

種類	金額 (円)	内訳(具体的内容及び単価×数量を記入してください)
参加費収入	000,000	〇〇〇の参加費収入(@〇〇 円×〇〇人×〇〇回)
寄付金・協賛金収入	000,000	地元企業からの協賛金
国、地方公共団体補助金または民間助成金収入	000,000	〇〇財団助成金、〇〇〇費に充当
一般会計繰入金	000,000	
D 収入合計	000,000	

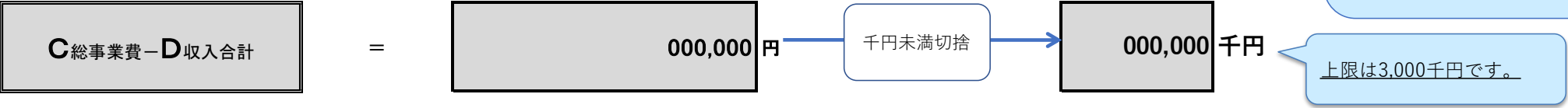
この事業に限定された使途指定のある寄付・協賛金等が見込まれる場合、こちらに入力してください。

この事業にかかる国または地方公共団体及び民間からの補助金・助成金等がある場合は、どこからの補助金・助成金等をどの経費に充当するか、こちらに記載してください。
なお、今回の未来応援ネットワーク事業の支援金は計上不要です。

自己資金その他団体に寄せられた寄付等から繰り入れる場合、こちらに入力してください。
要望額が上限を超えている場合も、この項目で調整することが可能です。

B 対象外経費 ≤ D 収入合計となるようにしてください。

③支援金額の算定



支援金額調書記入の際のルール①

インプットシート（別シート）の記載例

プルダウンより費目を選択してください。収入やその他の経費についても選択可能です、

具体的な積算根拠を記入してください。

費目	仕番	内容	単価	数値	単位	数値	単位	数値	単位	合計
謝金	柱1	講師謝金	10,000 円	×	1 人	×	5 回			= 50,000 円
旅費	柱4	ボランティア旅費	1,000 円	×	10 人	×	10 回			= 100,000 円
賃金	柱1	アルバイト賃金	1,000 円	×	5 時間	×	40 日			= 200,000 円
消耗品費	柱3	冷蔵庫	70,000 円	×	1 台					= 70,000 円
賃金	柱 全体事業	アルバイト賃金	1,500 円	×	5 時間	×	100 日			= 750,000 円
光熱水費	柱2	電気料金	3,000 円	×	12 力月					= 36,000 円
雑役務費	柱2	研修会における託児料金	1,000 円	×	3 時間	×	10 回			= 30,000 円
家賃	柱 全体事業	事業専用建物	70,000 円	×	12 力月					= 840,000 円
消耗品費	柱 1～3	コピー用紙	20,000 円							= 20,000 円
消耗品費	柱1	食材費	15,000 円	×	12 力月					= 180,000 円
印刷製本費	柱5	報告書印刷費	300 円	×	500 部					= 150,000 円
委託費	柱5	HP作成にかかる業務委託	100,000 円							= 100,000 円
借料損料	柱2	研修会会場借料	1,000 円	×	3 時間	×	10 回			= 30,000 円
参加費収入	柱	参加費	100 円	×	15 家庭	×	10 回			= 15,000 円
一般会計繰入金	柱		5,000 円							= 5,000 円

数値を入力し、単位をプルダウンから選択、もしくは手入力してください。



たくさんのご応募を、スタッフ一同、 お待ちしております！！

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

《お問い合わせ先》

子供の未来応援国民運動推進事務局

独立行政法人福祉医療機構（WAM） N P O リソースセンター

・ お問い合わせフォームをご利用の場合

<https://www.int.wam.go.jp/wamhp/hp/info-tabid-640/info-wamjosei01-tabid-2106/>

・ 電話をご利用の場合 TEL **03-3438-4756**

《受付時間》 月曜日～金曜日 AM9:00～PM5:00（土日祝祭日を除く）